

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	① 部局間連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●行政機構の的確な編成に努めます。 ●多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、プロジェクトチームを設けるなど、横のつながりを重視した柔軟な推進体制づくりに努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
部局横断的な各種会議の開催数（年間）【種】	-	9 対前年増減→	9 ±0	10 +1	12 +2	12 ±0			20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 横断的な庁内体制の構築 <p>【取組の概要（背景・目的等）】 多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、横のつながりを重視し、関係各課との連携を図っていくことで、横断的な庁内体制の構築に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度において、下記のとおり部局横断的な会議を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部長会（総務課） ・課長会（総務課） ・災害対策本部会議（総務課） ・予算編成説明会（企画財政課） ・上牧町総合計画等内部検証委員会（企画財政課） ・ペガサスフェスタ担当者説明会（企画財政課） ・さくら祭り実行委員会（企画財政課・まちづくり推進課） ・新しい地方経済・生活環境創生交付金関係説明会（企画財政課） ・大阪・関西万博に向けた担当者会議（企画財政課・まちづくり推進課・社会教育課） ・地域公共交通内部検討会議（まちづくり推進課、総務課、福祉課、生き生き対策課） ・久渡古墳群整備委員会（社会教育課、企画財政課、まちづくり推進課、建設環境課） ・片岡城跡活用検討委員会（社会教育課、企画財政課、まちづくり推進課） <p>≪参考：令和4年度以降に実施した連携会議≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策本部（総務課） ・インボイス制度説明会（企画財政課） ・公民館等補修補助金検討会議（文化振興課、福祉課、企画財政課） ・認定こども園に係る調整会議（こども未来課、企画財政課、総務課、まちづくり推進課、建設環境課、上下水道課、福祉課、教育総務課、社会教育課） <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 部局横断的な各種会議の開催数（年間）は増加傾向にあり、各分野における取組の推進にあたり、横のつながりを重視した体制が適宜設けられているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、各種行政課題に対し、関係各課と連携を図るための会議などを実施していくことで、横断的な庁内体制の構築に努めていきます。</p>	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	② 人材育成の充実	秘書人事課
施策の展開方向	●研修機会の充実などによって専門的知識や広い視野で諸問題に取り組める職員育成に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
職員研修の開催数（年間） 【種】	-	5 対前年増減→	5 ±0	5 ±0	5 ±0	5 ±0			10
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 職員を対象とした各種研修の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 研修を通じて、専門的知識や広い視野をもった職員の育成を図ることを目的としています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度の町主催の研修は「情報セキュリティ研修」（計4回167名参加）、「自殺予防ゲートキーパー研修」（計2回71名参加但し町民含む）、「CO2削減アドバイザーによる研修」（計2回13名参加）、「まちづくり基本条例研修」（計4回129名参加但し外部2名含む）、及び「接遇研修」（計2回26名参加）を実施しました。また、市町村職員研修センターが主催する専門的な研修や各階層ごとの研修に参加しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・職員研修事業：175千円	A	【評価の理由・根拠】 1年目から5年目までの職員を対象とした接遇研修及び上牧町の最高規範であるまちづくり基本条例に係る研修、また、その他専門的な研修を実施できたことを踏まえ組織全体の成長につながったので評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、研修機会を充実させることにより職員の育成を図り、組織全体の成長につなげていきます。	-
取組② 実務研修生の派遣 【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県の実務研修員制度を活用し、より一層の能力向上とともに経営感覚を身に付け、総合的な能力を備えた公務員としての成長を期待し、派遣しています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は、奈良県のデジタル戦略課及び法務文書課へ、それぞれ1名ずつ派遣しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 奈良県の実務研修員制度を活用し2名の職員を派遣し、うち1名は令和7年度も引き続きデジタル戦略課に派遣中であり、もう1名は法務文書課での実務研修を終えたことを踏まえ評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、実務研修員制度を活用し、計画的に職員を派遣します。	-
取組③ 専門人材の登用 【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する業務に対応するために専門人材を確保することを目的としています。 【実施内容・成果（R06）】 専門人材の登用については、より専門性の高い分野を見極めながら、令和6年度に採用試験を実施し、保健師、公認心理師、精神保健福祉士及び保育士の専門人材を採用しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・採用試験事業：481千円	A	【評価の理由・根拠】 専門性の高い分野を見極めながら専門人材を確保するべく採用試験を実施し、保健師、公認心理師、精神保健福祉士及び保育士の専門人材を確保することができたことを踏まえ評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、より専門性の高い分野を見極めながら採用及び育成を検討します。	-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
施策の展開方向	③ 計画的な財政運営	企画財政課
	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見ずえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
予算編成説明会の開催（年間）【回】	-	1 対前年増減→	1 ±0	1 ±0	1 ±0	1 ±0			1
財政情報の公表（年間）【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	3 ±0	4 +1	4 ±0			4
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 中長期財政計画の策定 【取組の概要（背景・目的等）】 将来にわたり持続可能な財政運営を行うため、現在の財政状況を踏まえ、景気の動向や地方財政制度などから将来の収入見込及び財政需要を中長期的に推計することにより総合計画における基本構想に掲げた基本理念及び将来像を具現化し、必要な政策を実現するための指針とするとともに基本計画に定めた施策の展開方向、施策展開及び進捗管理を行い、健全な行財政運営を進めていきます。 【実施内容・成果（R06）】 中長期財政計画（以下、「計画」という。）の策定を行い、議会への説明を行いました。また、同計画は町公式ホームページで公表しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 住民のかたに向けた財政情報の公表について年4回できており、本取組を推進できていると考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 住民のかたに向け、より一層わかりやすい計画を作成・公表することにより財政の見える化を図るよう取り組みます。
取組② 職員のコスト意識の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 職員数減少への対応、行政運営の効率化及び住民サービスの向上などの観点から民間企業やNPOなどへの委託可能な事業については、積極的かつ計画的に推進し、また、行政の更なるデジタル化を推進することで、行政サービスの利便性向上、事務の効率化、行政コストの削減及び職員の業務負担軽減に努めていきます。 また、生産性や効率性を高めることで、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスが保たれるように努めていきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度予算編成方針の策定及び予算編成方針説明会において、説明・共有を実施しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 令和7年度予算編成方針の策定及び予算編成方針説明会において、職員のコスト意識向上について説明及び共有を図ったことから本取組は推進できていると考え、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き予算編成方針の策定・全庁への共有時には、民間事業者やNPOなどへの委託の推進、また、行政事務のデジタル化を進めるよう積極的に発信していきます。 また、予算ヒアリングにおいて民間委託への検討状況及び検討結果並びに行政サービスのデジタル化について検討状況の更なる把握に努めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ 経営・財務マネジメントの強化		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 人口減少が進展する一方で、インフラ資産の大規模な更新時期を迎える中、中長期的な見通しに基づく持続可能な財政運営を行うためには、財政状況、ストック情報などを的確に把握し、「見える化」することが重要です。固定資産台帳及び財務書類（以下、「財務書類等」という。）のさらなる活用推進、財政の「見える化」を図ることにより経営・財務マネジメントの強化へつなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 財政情報に関する資料を作成し、公表しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度当初予算案の概要の公表 1回 令和5年度決算成果に関する報告書の公表 1回 令和5年度財務書類の公表 1回 中長期財政計画の公表 1回 <p>【事業費（決算額：R06）】 ・新地方公会計整備支援事業：990千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 財務書類等の公表により、財政の「見える化」を図るなど、経営・財務マネジメントの強化について推進できたと考えることから評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後、財務書類等を活用するにあたっての指標及び目的に応じた分析に重点を置き、財務マネジメントの更なる強化につなげていきたいと考えます。</p>
取組④ ガバメントクラウドファンディング活用の推進		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 人口減少が進行する中、行政サービスを維持するためには、自主財源の確保に努める必要があることから、ガバメントクラウドファンディングの活用を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和4年度にふるさと納税制度における返礼品の取扱いを開始したことに伴い、ガバメントクラウドファンディングを実施するためのシステム面での環境は整いましたが、実際の運用まで至っていません。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	C	<p>【評価の理由・根拠】 ガバメントクラウドファンディングについては、実際の運用まで至っておらず、取組を推進できていないため、評価をCとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後は、内部的にガバメントクラウドファンディングに対する対象事業調査を行うなど、活用に向けた取組を進めていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	③ 計画的な財政運営	税務課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見すえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町税徴収率【%】	-	91.0	89.5	89.3	90.4	91.0			92.5
		対前年増減→	-1.5	-0.2	+1.1	+0.6			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町税等の徴収率の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 町が行う事業やサービス実施のためには財源の確保が課題となることから、町税などの徴収率の向上に努める必要があります。 【実施内容・成果（R06）】 税の公平性を保つため、滞納者に対して差押などの滞納処分を実施しました。例年と同じく、換価が容易な給与や預金について重点的に行いました。新たな取組として、搜索（滞納者宅での聴取や財産調査）を奈良県と合同で行いました。搜索は滞納者の財産や生活状況を直接確認でき、差押だけではなく納付困難者に対する滞納処分の執行停止の判断材料としても用いられます。 なお、滞納者に対しては滞納処分だけではなく、早期の納税相談や、適正な申告が行われていないかたに対しては指導を行うなど、住民目線に立った行動も行いました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 実施内容のとおり、今年度も新たな取組を行っています。これまで財産の発見できなかった滞納者の財産を発見するだけでなく、滞納処分の停止の根拠にもなり、徴収率の向上を見込むことができるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度以降も口座振替の推奨など、滞納を減らすためにできることをひとつずつ行っていく必要があります。 滞納となった案件についてはできるだけ早期の滞納解消を目指し、自主納付の恣憑以外にも悪質な案件などには滞納処分を積極的に行っていきます。 なお、滞納処分については町単独で行う以外にも県と連携しながら、差押や搜索などを行っていきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	税務課
施策の展開方向	<p>●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。</p> <p>●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。</p>	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
租税教室の開催数（年間） 【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	2 -1	2 ±0	3 +1			5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針 (ACTION)
<p>取組① 租税教室の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 租税教室や教材の配布などを行い、子どもたちの税に関する理解の促進に努め、上牧町の将来について考える機会を提供します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度の租税教室の開催実績については、小学校1校（上牧第三小学校）、中学校2校とも実施という結果になりました。 また、学校向けにアンケートを行い、カリキュラムや教育現場の求めている内容を把握し、租税教室の内容に反映させました。 その他、小中学校向けに例年どおり、5校すべてに租税教室教材の配布を行いました。（教材については全国法人会総連合及び日本税理士会連合会から無償提供していただきました）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 小中合わせた全5校を目標値として依頼のあった学校へ赴き授業を実施したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 学校教育の一環として、租税に関する意識を正しく育むことが重要であり、税を扱う現場の職員が講義を行うことで、児童生徒が税について考え学ぶきっかけになっていると考え、内容についても学校と打ち合わせを行い現場のニーズに合ったものを検討いたします。引き続き税務署など関係機関と連携しながら、租税教室の開催及び教材の配布を実施して参ります。 令和7年度は、前年度と同じく小学校1校（上牧第三小学校）が6月、中学校2校とも7月に開催する予定です。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	教育総務課
施策の展開方向	<p>●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。</p> <p>●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。</p>	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
小・中学校を対象とした子ども議会・一日町長体験開催数（累計）【回】	-	1	1	2	3	4			5
		対前年増減→	±0	+1	+1	+1			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 一日町長体験の実施/子ども議会の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 次代を担う子どもたちが、上牧町の将来について考え、意見を発表し質問する機会として「子ども議会」を隔年で開催しています。 令和6年度の「子ども議会」は「協働」のまちづくりについてをテーマに、上牧中学校・上牧第二中学校の2・3年生12名から、町政に対する質問や提案が行われました。質問内容から生徒たちの町に対する関心の高さや思いなどを知ることができました。また、町からの回答を受け、町の取組に対する理解をさらに深めることができたのではないかと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・子ども議会事業：22千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 町政に対する質問から生徒たちの町に対する関心の高さや思いなどを知ることができました。また、町からの回答を受け、町の取組に対する理解をさらに深めることができたと考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 子ども議会については引き続き、隔年（次回令和8年度開催）で取組を継続していきます。令和7年度は、子どもたちの町政に対する関心と理解を深めるため、一日町長体験の実施を予定しています。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-2 広域連携の推進	担当課
	① 広域連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	●町民の日常生活圏の広域化などに対応するため、近隣自治体と連携し、行政ネットワークの連携強化を図ります。 ●多様な分野、形で連携を図り、行政課題解決の実績を重ねることで、町単独では実現し得ないまちづくり、住民サービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
広域連携新規事業数（累計） 【事業】	-	-	-	1	1	2			5
		対前年増減→	±0	+1	±0	+1			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 広域連携による公共サービスの提供/広域連携による行政課題の解決		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の中で、地域の魅力向上につながる広域連携事業の検討を行っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和4年度から広域観光の取組として検討・準備を行ってきた「御墳印帖プロジェクト」において、各町の観光資源及びモデルとなる周遊ルートに掲載した周遊エリアマップを更改し、首都圏及び県内で配布しました。 また、同プロジェクトのプロモーション事業として、インフルエンサーを活用し、各町のおすすめスポットを紹介する短編動画を作成し、公式アカウントで公開するほか、東京都港区にある奈良まほろば館にて歴史講座を開催し、2日間で37名のかたにご参加いただきました。 さらに、広域連携新規事業として、自転車での周遊ルートを示した北葛城郡4町の広域マップを作成し、同ルートを便利に訪れていただけるように、民間事業者と令和6年10月31日付けで協定を締結し、シェアサイクル事業を展開しました。</p> <p><令和6年度 御墳印・御墳印帖販売実績> 御墳印：322枚 御墳印帖：19冊</p> <p><令和6年度 シェアサイクル利用実績> シェアサイクル利用回数：550回（累計）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・すむ・奈良・ほっかつ！事業：250千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 御墳印帖プロジェクトを引き続き実施しつつ、シェアサイクル事業を新たに開始するなど、取組は拡大傾向にあると考えられることから、本取組は推進できていると考え、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、「御墳印帖プロジェクト」を進める一方で、施設などの利便性の向上や行政運営の効率化を図るために、様々な分野において広域連携の実現可能性について検討を行っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	① 地域活動への参加機会の創出	秘書人事課
施策の展開方向	●自治会活動への支援を通じて、地域活動への参加意欲の高い町民や能力・経験を有する町民の地域活動への参加機会を創出するよう努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地域活動への参加している割合【%】	-	34.2 対前年増減→	-	-	-	-			45.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 自治会活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 町民の意見を行政に反映する場や機会が充実し、町民と行政の協力・信頼関係から生まれた協働の考えのもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、様々なテーマで活動する町民活動団体がまちづくりの担い手として活躍できるまちを目指します。 【実施内容・成果（R06）】 町民の地域活動支援として、上牧町自治連合会に運営補助金70万円、各自治会に振興費助成金（人口×30円+10万円）を交付しました。 また、自治会員数の減少という課題を解決するため、自治会員募集のチラシ作成配付、広報紙掲載を行いました。 「ヨッシーワンズガーデン」（滝川台・三軒屋）住宅地が新たに自治会創設を予定していることから、自治会設立支援を実施しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・上牧町自治連合支援事業：3,723千円	A	【評価の理由・根拠】 自治会活動への支援を通じ、地域活動への参加機会の創出に取り組むことができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手の掘り起こしなど、必要な方策について検討します。 また、各自治会の取組を紹介する場を設けたり、自治会員勧誘のチラシの作成や広報に掲載します。 「ヨッシーワンズガーデン」住宅地が令和7年度中に上牧町自治連合会へ加入していただけるよう設立支援を継続します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	② 町民のまちづくり参加機会の拡充 ●各行政施策における町民参加機会のさらなる拡充を図り、諮問機関の提言や意見を尊重して施策を進めます。 ●町民が参加できる活動のPRや情報発信などを行うことで、参加意欲の高い町民の活動フィールドを確保するとともに、地域活動団体の活動支援や地域力の向上に努めます。 ●オンラインを活用した町民参画機会を創出することで、新型コロナウイルスなどの感染症リスクを避けるとともに、子育て期間中や移動に時間を要するなど、現地に来ることが難しい方でも参加しやすい環境を整えます。	企画財政課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
新規地域活動団体年間設立数（累計）【団体】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1	3 +1	3 ±0			20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町民のまちづくりへの参画機会の創出/意欲的な町民の地域活動への招待 【取組の概要（背景・目的等）】 意欲的な町民のまちづくりへの参画機会を確保していくために、各種審議会などへの公募住民の任用やパブリックコメント、アンケートなどを実施していくとともに、実施方法などの改善についての検討を行っていきます。 【実施内容・成果（R06）】 パブリックコメントの運用に関して、年度当初に各課に対してパブリックコメントの実施状況及び予定の把握に努めたことで、周知及び啓発を行いました。 また、実際に4件のパブリックコメントを実施しました。 <令和6年度パブリックコメント実施結果> ①案件名：上牧町まちづくり基本条例検証結果報告書（答申案） 募集期間：令和6年6月3日から令和6年7月2日まで 意見数：5件 ②案件名：一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 募集期間：令和7年1月14日から令和7年2月12日まで 意見数：1件 ③案件名：第2期上牧町自殺対策計画（素案） 募集期間：令和7年1月10日から令和7年1月31日まで 意見数：0件 ④案件名：第3期上牧町子ども・子育て支援事業計画 募集期間：令和7年1月14日から令和7年2月7日まで 意見数：1件 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 パブリックコメントの実施については適宜各課に照会や周知を行うことで、適切な運用ができていると考えることから評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き各種審議会などへの公募住民の任用やパブリックコメント、アンケートなどを実施し、町民参画機会の確保に努めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	
取組② 地域活動団体の設立及び活動支援		総合戦略	基本目標. 3
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」（以下「公募型補助金」という。）の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 既存の地域活動団体（1団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、公募型補助金制度については、1団体あたりの交付回数が原則3回となっていました。新たな事業に取り組む場合には、引き続き本補助金制度を活用できるように補助金制度の見直し（要綱改正）を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：57千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 公募型補助金については、制度の見直しの検討を行うなど、活用しやすくなるための工夫を行いながら実施しており、改善が必要な点に対応しながら取組を推進できたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。また、公募型補助金制度については、引き続き調査・研究を行い、地域活動団体の設立や発展につながるように適宜改善を図っていきます。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	③ 上牧町まちづくり人材バンクの拡充	企画財政課
施策の展開方向	●技術や能力を有している上牧町在住・在勤者を掘り起こし、上牧町まちづくり人材バンクの拡充に努めます。 ●上牧町まちづくり人材バンク登録者の町事業への参画・活動機会の創出に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町まちづくり人材バンクの登録者数【人】	○	30 対前年増減→	30 ±0	37 +7	37 ±0	37 ±0			45
上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数（年間）【人】	○	7 対前年増減→	6 -1	4 -2	6 +2	6 ±0			20
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 【取組の概要（背景・目的等）】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人材バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R06）】 新規登録はありませんでしたが、元々登録していた人材の庁内開催の各種審議会での委員や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。 （活用事例） ・まきっ子塾：5名 ・各種審議会委員：1名 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	C	【評価の理由・根拠】 人材バンク制度については、登録者数及び活動人数が増えておらず、また、増やすための取組を推進することができていないため、評価をCとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけでなくSNSなども積極的に活用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、現在は資格・技能・経験などを持つかたに登録していただいておりますが、将来的には特別な資格などを持たなくても「まちや地域のために動きたい」といった思いを持っているかたにも参加してもらえるように整備を進めていきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	④ 地域主体の協働のまちづくり	企画財政課
	<ul style="list-style-type: none"> ●町民の自主的な文化・コミュニティ活動などを支援し、人材・情報の提供に努めます。 ●町民主体のまちづくりの推進に向け、ボランティア団体等の自主的運営体制の確立とコミュニティリーダーの育成に努めます。 ●上牧町まちづくり基本条例の推進に取り組みます。 ●町民や団体・事業者が連携してまちづくりに取り組むことができるよう、環境整備を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
まちづくり協議会設置数【団体】	-	-	-	-	-	-			1
		対前年増減→	±0	±0	±0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① まちづくり協議会設立に向けたプラットフォーム構築支援/地域団体の自立支援		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】</p> <p>平成26年4月1日に「上牧町まちづくり基本条例」が制定されたことに伴い、町民との協働によるまちづくりをより一層推進していくこととなっています。しかし、地域コミュニティの中心的存在である自治会については、加入率の低下や担い手不足といった課題が生じていることから、地域コミュニティを持続可能なものとしていくためには、本条例にも規定されている「まちづくり協議会」といった新たな枠組みの検討が求められています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】</p> <p>奈良県が主催する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」に参加し、地域コミュニティに関する講義やワークショップを通じて、まちづくり協議会に対する理解を深めました。</p> <p>まちづくり協議会の設立を考えるうえでは、協議会の中心となる担い手を発掘していくことや、既存の枠組みにとらわれず地域の実情に応じた形でまちづくり協議会の枠組みを構築していくことが重要であると考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】</p> <p>予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】</p> <p>まちづくり協議会に関する取組として、これまでに研究会への参加や他自治体の事例調査などを行っていますが、具体的にまちづくり協議会の枠組みや支援内容を構築することができていないため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】</p> <p>引き続き、他自治体の取組事例を調査していくとともに、上牧町における「まちづくり協議会」の枠組みの構築に向けた検討を進めていきます。</p> <p>また、地域住民に対して、まちづくり協議会への理解を深めてもらうために、まずは、組織や運営に関して概要がわかるもの（ハンドブックなど）を作成し、周知を図っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	⑤ 公募型補助金の活用促進	企画財政課
施策の展開方向	●補助金を活用し、町の活性化に資する公益的活動を行う団体の育成を図り、町民と行政との協働のまちづくりのさらなる推進に取り組めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】	○	3	5	2	4	1			7
		対前年増減→	+2	-3	+2	-3			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用促進 【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて補助金の交付を行います。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は1団体からの申請があり、上牧町協働のまちづくり公募型補助金審査判定委員会に諮った結果、地域活動団体（1団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、本補助金制度については、1団体あたりの交付回数が原則3回までとなっていました。新たな事業に取り組む場合には、引き続き本補助金制度を活用できるように補助金制度の見直し（要綱改正）を行いました。 さらに、上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会を通じて本制度の周知を図るなど、制度の広報にも努めました。 <実施事業（R06）> ●自由提案事業補助金 ①上牧町在住外国人交流事業（団体名：Together）【補助金交付額27,725円】 【事業費（決算額：R06）】 ・協働のまちづくり公募型補助金事業：57千円	A	【評価の理由・根拠】 公募型補助金の申請件数については減少傾向となっていますが、令和6年度においては本補助金制度の見直し（要綱改正）を行い、改善が必要な点に対応しながら取組が進められたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考にするなど、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	⑥ 地域コミュニティの強化	社会教育課
	● 地域、校区、学校での個々のコミュニティ網の形成に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	4 対前年増減→	1 -3	1 ±0	1 ±0	- -1			5
学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】	○	238 対前年増減→	217 -21	254 +37	243 -11	232 -11			250
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成 【取組の概要（背景・目的等）】 地域とともにあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は検討会議などは実施しませんでした。町内各小中学校を訪問し、学校の管理職とコミュニティ・スクール導入に向けての話し合いを行いました。地域学校協働活動（学校・地域パートナーシップ事業）を進めるうえで、学校とボランティアそして社会教育課の間で事業について齟齬があるなど、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入がスムーズに行うことが難しいと実感しました。 【事業費（決算額：R6）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 令和6年度は県主催の研修会に参加したり、県と事務局では会議を行いました。各小中学校の校長・教頭・コーディネーター、事務局を対象に検討会議などは実施しませんでしたので、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。
取組② 学校支援事業の運営 【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。 【実施内容・成果（R06）】 主な活動として図書支援・環境支援、音楽科や家庭科を補助する授業支援などを行いました。小学校では登下校見守り支援も行い、児童の安全を守るため多くのボランティアに活動いただきました。また、令和6年度は、環境支援活動中の事故が近年で増えてきていることから、機械などの取り扱いに関する講習会を実施し、安全意識の向上を図る取組も行いました。 地域人材の確保については、ボランティア募集のチラシを工夫し、毎年新しいデザインにすることで、目を引くものとなるよう努めました。 【事業費（決算額：R06）】 ・学校・地域パートナーシップ事業：954千円	A	【評価の理由・根拠】 令和6年度のボランティア数は令和5年度に比べ減少していますが、各学校コーディネーターにより、ボランティアのバランスを考えた調整をしていただいたことで、限りある人材の中でも工夫して活動を維持できていると考えます。 また、新しい取組として、ボランティアのための安全講習会を実施することができましたので、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	⑦ ふるさと意識の高揚	企画財政課
施策の展開方向	●ふるさとに対する愛着や誇りの醸成・再認識を目的に、町出身者が上牧町に関わる機会の提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「上牧町に住み続けたい」という人の割合【%】	-	77.6 対前年増減→	-	-	-	-			80.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R06）】 地域イベントとして「ベガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月21日から4月15日まで夜桜のライトアップを実施し、3月29日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 さらに、令和5年度から広域観光の取組としてスタートした「御墳印帖プロジェクト」において、各町の観光資源及びモデルとなる周遊ルートに掲載した周遊エリアマップを更改したほか、東京都港区にある奈良まほろば館にて歴史講座を開催し、2日間で37名のかたにご参加いただきました。 令和6年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印322枚、御墳印帖を19冊売り上げました。 令和5年度に引き続き、「メタセコイアイルミネーション」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を知ってもらう・訪れてもらうための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・ベガサスフェスタ開催事業：4,481千円 ・ライトアップ事業：380千円 ・PRキャラクター活用推進事業：307千円	A	【評価の理由・根拠】 令和5年度から引き続き実施する事業であっても、年度によって実施内容を改良することで、効果的に上牧町のPRを行っていると考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き「ベガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」などの取組を推進し、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組② ふるさと納税制度の活用		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 ふるさと納税制度を活用し、上牧町における特産品の発信・発掘を行うことで、上牧町出身者などの町外のかたに対し、上牧町に関わる機会を提供していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計3サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者は、累計15事業者の登録で、返礼品として累計品目164品（令和5年度比+58品目）の登録となりました。令和6年度の寄附額は14,178,000円（令和5年度比+3,645,000円）という結果となり、掲載サイトを増やした結果、令和5年度に引き続き寄附額が増収となりました。</p> <p>特産品開発支援補助金については、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を令和5年度に引き続き実施しました。2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発が行われました。（開発：2件（万能ソース、フルセック缶（菓子）））</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・ふるさと納税事業：6,316千円 ・特産品開発支援補助金事業：426千円</p>	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 ふるさと納税制度については、返礼品の掲載サイトを追加したことや、返礼品の登録品目を増やすための取組を推進したことで、寄附金額が増加しており、上牧町に関わる機会が広がっていると考えられるため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、上牧町に関わる機会の一つとして、ふるさと納税制度の活用を推進していきます。 ふるさと納税の返礼品については、登録品目を増やしていくために、広報やHPなどを活用した情報発信を行っていくほか、特産品開発支援補助金制度の普及にも努めていきます。 また、返礼品を掲載する「ふるさと納税ポータルサイト」についても、返礼品に目を触れてもらう機会を増やすために、更にサイトを追加して掲載していくよう検討を進めていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
	① 情報発信及び情報共有の充実	秘書人事課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●広報紙やホームページなどを使った広報活動に努めます。 ●SNSを積極的に活用し、町民に直接届ける「プッシュ型」の情報発信・情報共有を推進します。 ●町民へまちづくりの情報を提供するため、行政情報公開を推進します。 ●町民と行政が情報共有を図れるよう環境の整備に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
SNSの延べフォロワー数【人】	○	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771	5,345 +1,074	5,864 +519	6,344 +480			5,500
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635	253,220 -21,574	230,000 -23,220			500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 既存情報発信媒体の発信力の向上 【取組の概要（背景・目的等）】 町民生活に役立つ情報が様々な情報媒体から発信・共有されてすべての町民に届けられ、上牧町全体がつながり情報が届けられるまちを目指します。 【実施内容・成果（R06）】 リニューアル後のホームページ内の情報が整理できていない箇所を修正しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・既存情報発信事業：1,793千円	A	【評価の理由・根拠】 町民生活に役立つ情報が様々な情報媒体から発信・共有されてすべての町民に届けられることを目的に、リニューアル後のホームページ内のページ整理など使いやすさの向上を行ったことから、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 ホームページについては、リニューアル後もシステム面の改修や内容の充実、使いやすさの向上を目指し日々更新を続けていきます。 広報紙については、他の自治体の広報紙を参考にしやすい広報紙について研究し、紙面のリニューアルを実施します。	-
取組② タウンミーティングの継続的な実施 【取組の概要（背景・目的等）】 町民からの声を積極的に聞く機会を作ります。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は今中町長退任の時期と重なったため、実施しませんでした。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	C	【評価の理由・根拠】 今中町長退任の時期と重なり実施しなかったため、評価をCとしています。 【今後の取組方針】 実施の有無や実施方法については新町長の意向を聞き検討します。 実施する場合は、参加率を上げるため適切な実施時期や時間などについて検討します。	-

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ SNSを活用した情報発信と企画の実施		総合戦略 基本目標.2
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 SNSの活用により迅速に情報を発信することが可能です。 また、町民だけではなく町外にも町の魅力や情報発信を行うことで、町の認知度を高めることにつながります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 Youtubeにおいて、町PR動画や手話講座などの動画を投稿することで、町の魅力や取組などの発信につながりました。また、奈良テレビ放送及びYouTube用の町のCMとして、住民や町内で活動されている皆さんに参加・出演いただくことで、町の魅力をPRしました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・SNS活用情報発信事業：132千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 SNSを活用し、町民に向けた情報の発信や町外への町の魅力やイベント情報などを発信し、また、緊急時における情報の迅速な発信のため、担当課からの情報発信を一部可能とする体制づくりを行ったことから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 転入者への案内の配布や町広報紙などで、町民から新規の登録者の確保を進めていくほか、引き続き、InstagramやYouTubeなどで、町の魅力や情報を発信することで、町民だけではなく、町外にも発信します。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
施策の展開方向	② シティプロモーション活動の推進	企画財政課
	●コンパクトで生活利便性に優れ、事前に囲まれた上牧町の特徴をPRすることにより、住みよいまちであることを地域内外にPRします。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	○	50.6 対前年増減→	38.2 -12.4	40.4 +2.2	33.3 -7.1	35.7 +2.4			60.0
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635	253,220 -21,574	230,000 -23,220			500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R06）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催し、5,000人を超えるかたが来場しました。また、3月21日から4月15日まで夜桜のライトアップを実施し、3月29日にはさくら祭りを開催しました。さくら祭りは上牧町商工会、まちづくり推進課、企画財政課の3者で構成されるさくら祭り実行委員会主催で開催し、約3,500人の来場者を記録しました。 さらに、令和5年度から広域観光の取組としてスタートした「御墳印帖プロジェクト」において、各町の観光資源及びモデルとなる周遊ルートに掲載した周遊エリアマップを更改したほか、東京都港区にある奈良まほろば館にて歴史講座を開催し、2日間で37名のかたにご参加いただきました。 令和6年度の御墳印・御墳印帖販売実績として御墳印322枚、御墳印帖を19冊売り上げました。 令和5年度に引き続き、「メタセコイアイルミネーション」、「PRキャラクターの活用」を行いました。上牧町を知ってもらう・訪れてもらうための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。 【事業費（決算額：R06）】 ・ペガサスフェスタ開催事業：4,481千円 ・ライトアップ事業：380千円 ・PRキャラクター活用推進事業：307千円	A	【評価の理由・根拠】 令和5年度から引き続き実施する事業であっても、年度によって実施内容を改良することで、効果的に上牧町のPRを行っていると考えられるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」などの取組を推進し、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組② 大学や企業との連携によるブランディングの推進		総合戦略 基本目標.2
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町をPRするために、ふるさと納税制度を活用した地域ブランディングを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ふるさと納税の返礼品を掲載するサイトを追加し、合計3サイトで運営を行いました。返礼品については、協力事業者は、累計15事業者の登録で、返礼品として累計164品目（令和5年度比+58品目）の登録となりました。令和6年度の寄附額は14,178,000円（令和5年度比+3,645,000円）という結果となり、掲載サイトを増やした結果、令和5年度に引き続き寄附額が増収となりました。</p> <p>特産品開発支援補助金については、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を令和5年度に引き続き実施しました。2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発が行われました。</p> <p>また、企業版ふるさと納税については、奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。</p> <p>（寄附件数・金額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県企業版ふるさと納税連絡協議会を通じた寄附：1件（770,000円） ・その他企業からの申出：3件（6,000,000円） <p>【事業費（決算額：R06）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税事業：6,316千円 ・特産品開発支援補助金事業：426千円 ・奈良県企業版ふるさと納税推進事業：11千円 	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 ふるさと納税返礼品掲載サイトの増設や特産品開発支援補助金を通じて新たな返礼品の開発補助などに加え、企業版ふるさと納税制度のアピールなどを実施したことで上牧町のPRを行えたと考えていることから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じた上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。</p> <p>その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携が図れるように制度を整備していきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
施策の展開方向	① 情報セキュリティの強化 ●研修や内部監査の実施により、問題点を早期に発見し、正しい理解のもと、対策を確実にすることで、情報セキュリティの強化に努めます。	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
情報セキュリティに対する遵守意識度	-	93.7 対前年増減→	96.4 +2.7	96.5 +0.1	92.0 -4.5	94.8 +2.8			100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 情報セキュリティの強化</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 町が保有する情報の漏えいなどの重大な過失を防ぐため、情報セキュリティの強化を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 情報セキュリティ全体研修を令和6年8月6日・7日に全職員を対象に行い、改定された情報セキュリティポリシーの周知を行いました。 また、令和7年1月にセキュリティポリシー遵守に関する自己点検を全職員を対象に行いました。令和5年度よりセキュリティへの意識が上昇したものの目標値には届きませんでした。自己点検の結果を踏まえ、上牧町情報セキュリティ委員会より全職員に再度セキュリティポリシーの周知を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・情報セキュリティ監査・研修事業：660千円</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 情報セキュリティポリシーの自己点検の結果について、引き続き、基本的な情報セキュリティに関する意識については高いものの、遵守できていない項目もあったため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、情報セキュリティ全体研修を行っていくとともに、情報セキュリティ内部監査についても行っていきます。 また、庁内周知についてもを行い、情報セキュリティについての意識向上を図り、パスワードの変更方法のマニュアル等を整備します。 加えて、令和7年度の情報セキュリティポリシー遵守に関する自己点検についても引き続きLGWAN環境で行うこととし、実施率の向上も図ります。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
施策の展開方向	② 行政手続き等のオンライン化の推進	総務課
	●ICTを活用した行政手続きの簡素化・効率化を図り、スマート自治体の実現に向けて電子申請サービスの運用やオンライン環境の整備を推進します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
行政手続きのオンライン化率【%】	-	-	-	3.0	10.0	10.0			33.0
		対前年増減→	±0	+3.0	+7.0	±0			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 押印省略に向けた例規整備</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 デジタル時代に向けた規制・制度の見直しの一環として、行政手続きにおける押印の見直しを行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 認印の押印省略に向け、各課に押印見直しの指針を发出し、省略可能な押印の洗い出しを行いました。洗い出しの結果を基に、押印省略に係る改正を一括実施しました。（令和7年4月1日施行） 併せて、公印の押印についても、公文書の効力の見直しを行った上で、指針を发出し、洗い出しを行いました。洗い出しの結果を基に、公印の押印を必要としない文書については、令和7年4月1日から押印しないものとしています。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 認印の押印省略に係る例規の改正を一括して行ったことから、現状省略できる押印については、省略が完了しており、公印の押印についても見直しを行い、一部を除き、押印しないものとしたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後施行する例規についても、指針に従い押印省略を継続していきます。</p>
<p>取組② 電子申請システムやオンライン環境の拡充</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 電子申請システムやオンライン環境の拡充を行うことで、町民の利便性の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度から、試験的にLoGoフォームでの電子申請を行いました。電子申請に切り替えることができる申請について調査・研究を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 KPIの対象としているオンライン化率に変化はありませんが、LoGoフォームその他電子申請（不在者投票の電子申請の実施等）の活用などについての研究・整備を行ったため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 順次、マイナンバーカードを利用したオンライン申請管理業務の拡充を行います。 また、令和6年度に引き続き、LoGoフォームを利用した電子申請の活用について、庁内周知を行っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
	③ マイナンバーカードの普及促進	住民保険課
施策の展開方向	●広報・SNSを活用した積極的な周知を図ることにより、マイナンバーカードの普及に努めます。 ●休日交付窓口の開設を行うほか、片岡台出張所での交付申請を可能にするなど、マイナンバーカードの取得を希望する住民の利便性向上を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
マイナンバーカード交付率【%】	-	28.9 対前年増減→	41.3 +12.4	66.3 +25.0	76.3 +10.0	85.2 +8.9			100
上牧町におけるコンビニ交付による証明書等の発行率【%】	-	8.0 対前年増減→	14.6 +6.6	22.6 +8.0	31.3 +8.7	32.4 +1.1			20.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 広報・SNSを活用した周知の強化 【取組の概要（背景・目的等）】 広報・SNSを活用した積極的な周知を図ることにより、マイナンバーカードの普及に努めます。 【実施内容・成果（R06）】 広報及びLINEを用い、それぞれ月1回年12回の広報を行いました。証明書などの発行率 コンビニ交付件数/証明書発行件数 4,135件/12,757件 32.4% 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 毎月広報及びLINEを用い、周知と案内を実施したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 広報・SNSを活用し随時マイナンバーカード及びコンビニ交付について情報発信を行っていきます。
取組② 休日交付窓口の開設/交付申請窓口の増設 【取組の概要（背景・目的等）】 休日交付を行うほか、片岡台出張所での交付申請を可能にするなど、マイナンバーカードの取得を希望する住民の利便性向上を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 毎月1回の休日交付窓口及び夜間交付窓口を開設しました。休日交付窓口は年間12回、33枚の対応を行いました。 申請者の来庁回数が減る申請時来庁方式や特急申請について取り組みました。 申請時来庁方式 20件 特急申請件数 41件 【事業費（決算額：R06）】 ・個人番号カード関連事業：480千円	A	【評価の理由・根拠】 マイナンバーカードの取得を希望される住民に対しては個々のケースを聞き取り、それぞれ適切な案内を行い利便性を向上させられたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 休日夜間交付窓口については、普及が進むにつれて利用者が減少してきており、利便性向上の方法を検討します。 休日交付窓口件数 205枚（令和4年度） 97枚（令和5年度） 33枚（令和6年度）

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
施策の展開方向	<p>① 公共施設の適正な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町民の多様なニーズや利用目的にも柔軟に対応できるよう、公共施設の適正な管理運営に努めます。 ●施設の長寿命化や適切な維持管理により、施設を長く使用し、施設管理にかかる費用の圧縮を図ります。 ●老朽化した施設や利用率の低い施設については、複合化・多機能化を図り、利用者ニーズに対応した施設運営に取り組みます。 ●施設管理の手法について調査・研究し、効率的な管理運営、コスト削減に努めます。 	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 公共施設の管理運営会議の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 公共施設の安全性の向上・長寿命化・効率化を目的に、公共施設の包括管理を行うことを計画しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 公共施設包括管理委託に関する検討会を2回開催し、関係課との情報共有などを行い、令和8年度の実施に向けて調整を行いました。 また、上牧町公共施設等マネジメント推進委員会及び上牧町公共施設等マネジメント検討会議を開催し、今後の公共施設の在り方などを検討しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 公共施設に関する検討会議などについて、開催し、情報共有などを行いました。 今後も、公共施設の複合化・多機能化により、変化する町民の多様なニーズに柔軟に対応できるよう、検討していく必要があると考えるため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 公共施設に関する検討会議などを開催し、これからの公共施設の在り方などを検討していきます。</p>
<p>取組② 長寿命化改修の推進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕のために、長寿命化改修の推進を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 上牧町役場本庁舎内の宿直室の改修、議員控室カーペット張替及び電気室内のプレーカー取替、送迎バス車庫外壁修繕などを実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・庁舎維持補修事業：1,465千円 ・庁舎設備改修事業：5,634千円</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕が必要であると考えため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 本庁舎については耐震安全性が確保されているため、本庁舎機能を長期的に維持できるように計画的な管理保全を行っていきます。 また、本庁舎を含む公共施設の公共施設台帳の整備を行うことにより、長寿命化改修の推進を図ります。</p>

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ 指定管理制度の活用や公共施設包括管理の導入に向けた検討		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 指定管理制度の活用や公共施設の包括管理の導入に向けた検討を図ります。 なお、町民交流施設（公民館、老人憩の家、コミュニティセンターなど）については、自治会又はシルバークラブを指定管理者として運営しています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 公共施設包括管理委託に関する検討会に参加し、また、公共施設の包括管理を実施している自治体に情報収集などを行いました。 令和8年度の公共施設の包括管理の実施に向け、調査・研究を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	B	<p>【評価の理由・根拠】 現在、町が様々な用途で建設した建物を、自治会又はシルバークラブに指定管理者となってもらうことで、地域コミュニティの場として活用いただいています。 しかしながら、建物の老朽化や管理者のなり手不足の問題が出てきており、また、人口減少に伴う利用需要の変化もあることから、従来通り、施設を維持管理することが困難な状況になりつつあります。そのため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 先行して公共施設包括管理を実施した自治体に情報収集などを行っており、令和8年度の実施に向け、準備などを行っていきます。 また、施設の管理運営についても最適な方策を今後も引き続き検討していきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
施策の展開方向	② 市町村間での公共施設の相互利用	総務課
	●住民サービスの充実を追求し、より魅力的なまちづくりを進めていくことを目的に、市町村間での公共施設の相互利用に取り組むとともに、利用促進のための情報発信に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共施設の満足度【%】	○	14.7 対前年増減→	-	-	-	-			35.0
ペガサスホール利用日数（年間）【日】	-	84 対前年増減→	90 +6	91 +1	112 +21	100 -12			120
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 公共施設広域連携検討会の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。 【実施内容・成果（R06）】 広域連携検討会に4度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。検討会で公共施設の相互利用について、令和7年度からの本格運用に向けて対象施設の見直し、施設利用のルールを協議しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	B	【評価の理由・根拠】 中和・西和広域連携について、令和7年10月1日からの本格運用に向けて、最終調整を行っています。今後も、広域連携の充実に向けて、公共施設の相互利用実施自治体の拡大、対象施設の拡大、予約方法の簡素化、利用条件の共通化などの意見があげられているため、評価をBとしています。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、公共施設の相互利用の充実に向けて、調査・研究を進めながら、本格運用後の施設利用者の推移をみていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
施策の展開方向	① 地域の防災力の向上	総務課
<p>●自治会の防災活動を支援するとともに、防災訓練の実施や地域団体・学校等への防災訓練・防災教室の支援を通じて、関係機関、関係団体、地域、企業等と連携を強化し、防災・減災体制の充実に取り組みます。</p> <p>●子ども・若者・転入者の参加を促し、防災教育や次世代の担い手育成にも取り組みます。</p> <p>●町民や地域における自助・共助の取組を支援するとともに、自主防災組織の人員の確保と組織強化を支援します。</p> <p>●災害時における避難所の適正な確保・配置を行うとともに、ハザードマップの周知等に取り組むなど、防災力の強化に努めます。</p> <p>●地域の防災力強化を図るため、消防団員数の確保に取り組みます。</p>		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
子ども防災意識の向上教室の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	1 +1	1 ±0	2 +1			1
地域防災訓練の支援回数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1	2 ±0	3 +1			3
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0	- ±0			1
防災士資格取得支援者数（累計）【人】	-	116 対前年増減→	117 +1	118 +1	123 +5	124 +1			240

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組① 子ども防災意識の向上</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 災害時において命を守る行動を行えるよう、子どもたちの防災意識の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う『奈良県いっせ地震行動訓練（ナラ・シェイクアウト）』に本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校が参加しました。（7月9日） 上牧町総合防災訓練では、避難所開設訓練や防災ヘリでの救助活動の演習など、防災に触れる機会に多くの子どもたちが参加し、啓発を行いました。</p> <p>また、ペガサスフェスタでは、子ども向けの消防防災に関する子ども向けの啓発物品の配布を行いました。奈良県広域消防組合西和消防署と協力し、消防防災に関する啓発を行いました。（11月3日ペガサスフェスタ）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 ペガサスフェスタ及び上牧町総合防災訓練で啓発を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、子どもたちの防災意識の向上を図るためイベントや教室の開催、水消火器を使った子ども向け防災訓練などを積極的に行っていきます。</p>

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組② 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで、町の防災力向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 上牧町自主防災ネットワークから上牧町防災事業補助金の申請がありました。当該団体は、補助金を活用し研修などを実施しています。 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり（5月26日）にて、上牧町自主防災ネットワークと協力し、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライベートテントとラップ式トイレの展示を行いました。 また、ペガサスフェスタにて防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、避難所開設訓練に加え、陸上自衛隊、西和警察署、奈良県広域消防組合西和消防署及び防災関連事業者の協力を得て、上牧町総合防災訓練を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・自治会防災事業：2,284千円 ・かんまき自主防災ネットワーク事業：100千円</p>	A	<p>総合戦略 基本目標.3</p> <p>【評価の理由・根拠】 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり、ペガサスフェスタにて防災備蓄品の配布及び上牧町総合防災訓練を実施したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援などを行い、地域の防災意識の向上を図っていきます。 広域連携について、引き続き北葛城郡各町と協議を進めていきます。</p>
<p>取組③ 防災訓練の充実による自治会、職員の育成</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練を行うことで町民・職員の育成を行い、町の防災力向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 防災士資格の取得支援を1名のかたに行いました。 上牧町自主防災ネットワークから上牧町防災事業補助金の申請がありました。当該団体は、補助金を活用し研修などを実施しています。 社会福祉協議会主催のふれあい社協まつり（5月26日）にて、上牧町自主防災ネットワークと協力し、上牧町の防災ブースを設けて、非常用プライベートテントとラップ式トイレの展示を行いました。 また、防災備蓄品の配布も行いました。 上牧第二中学校において、避難所開設訓練に加え、陸上自衛隊、西和警察署、奈良県広域消防組合西和消防署及び防災関連事業者の協力を得て、上牧町総合防災訓練を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・防災士資格取得支援助成金事業：12千円 ・自治会防災事業：2,284千円 ・かんまき自主防災ネットワーク事業：100千円</p>	A	<p>総合戦略 -</p> <p>【評価の理由・根拠】 防災士資格取得者の1名増加したことに加え、防災訓練などを通じて自治会及び職員の育成に努めたことから、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 防災士資格の取得支援を継続的に行います。併せて、支援事業の周知を積極的に行います。 町職員においても、防災士資格の取得や防災に関する研修への参加を促していきます。</p>
<p>取組④ 消防団への加入促進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町消防団への加入を促進し、地域の消防力の強化を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 消防団員確保に向けて、ホームページ掲載やイベントにおける募集のポスターを掲示し募集啓発を行いました。 《団員数》 令和5年度：107人 令和6年度：107人 《新規加入団員数》 令和5年度：6人 令和6年度：7人</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>総合戦略 -</p> <p>【評価の理由・根拠】 各イベントにて、広報活動や啓発活動を行ったため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 本町においても減少傾向にあり、消防団の認知度・イメージアップを図るための取組を行っていきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
施策の展開方向	② 災害時の救急医療体制強化	総務課
	●近隣町や民間医療機関との連携のもと、災害医療情報について、広域的に医療機関情報等を収集し、提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数（累計）【件】	-	39 対前年増減→	41 +2	46 +5	46 ±0	51 +5			42
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 医療機関との災害時救助支援協定の締結 【取組の概要（背景・目的等）】 医療機関との災害時救助支援協定を締結することで、災害発生時における救急医療体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 奈良県が、奈良県医師会及び奈良県薬剤師会と協定を締結しているの で、上牧町としては、災害発生時に迅速に行動できるよう、協定内容の確 認、研究を行いました。 また、民間事業者に依頼し病院をはじめとした複数の事業所にAED貸出 協力事業所としてAEDの設置をしていただいています。 ・AED設置箇所 町施設 42箇所 民間施設 20箇所（内医療施設3箇所） 【事業費（決算額：R06）】 ・AED設置事業：1,580千円	A	【評価の理由・根拠】 上牧町医師会及び上牧町歯科医師会、その他民間 事業者に対し協力依頼をし、AEDの設置状況の確認 を行ったため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 災害発生時に迅速に対応するため、県に速やかに 本町の被害状況を伝えることが前提となります。 県に的確な情報を連絡し、県と奈良県医師会との 連携により、被災の影響を受けていない派遣可能な 医療機関が決定しますので、関係機関などとの連携 を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	③ 消防防災体制の強化	総務課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時における危機管理体制の整備を進めるとともに、近隣町と連携して広域消防体制の充実強化を図ります。 ●災害時の情報や情報のネットワークの充実を図ります。 ●予測を上回る状況下での優先的に実施すべき業務を特定し、業務の執行体制や対応手順を整理するとともに、組織として共有し適切な業務執行の充実を図ります。 ●避難所となる公共施設については、マンホールトイレや備蓄物資の充実等、防災拠点としての環境整備を行います。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数（累計）【件】	-	39	41	46	46	51			42
		対前年増減→	+2	+5	±0	+5			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 近隣町との広域消防体制の強化 【取組の概要（背景・目的等）】 近隣町の防災担当との情報交換などを行い、災害時における消防体制を含む防災体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R06）】 北葛城郡4町消防団合同訓練の実施に向けて、各町の担当者と協議を行いました。西和消防署及び広陵消防署に協力要請し、令和6年度に北葛城郡4町消防団合同訓練の実施を計画しましたが、雨天のため中止となりました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 実施に向けた具体的な計画ができたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和6年度は雨天のため、中止となりましたが、今年度も実施に向け北葛城郡4町西和消防署及び広陵消防署と連携し訓練を実施します。
取組② 防災拠点の環境整備 【取組の概要（背景・目的等）】 災害発生時に滞りなく活動が行えるように、防災拠点の環境整備を行います。 【実施内容・成果（R06）】 上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）消防屯所の改築工事を実施しました。 防災拠点整備（上牧第二中学校）の検討を引き続き行いました。 【事業費（決算額：R06）】 ・上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）消防屯所改築事業：54,835千円	A	【評価の理由・根拠】 令和5年度に引き続き、防災の拠点になる消防屯所の整備を実施したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 その他の消防屯所についても、消防防災拠点としての機能を維持するために、適宜対応を行います。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組③ 災害時情報発信ネットワークの充実 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 防災行政無線など、すべての町民へ災害時に情報を提供できる環境の整備を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 防災・防犯情報をお知らせする「お知らせメール」の登録について、広報やホームページ、イベント、窓口業務において啓発活動を行いました。（新規登録者数 令和6年度：78人 総登録者数 1,631人）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・プラストメール事業：53千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 広報活動及び啓発活動により、「お知らせメール」の登録者数が増えたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も、周知活動を継続していきます。</p>
<p>取組④ 行政間及び民間との協定締結等による応援体制の充実 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 災害時における連携協定などを締結することで、応援体制の充実を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 福祉避難所の確保や災害時の人材確保などに関する協定締結に向けて、各団体と協議・研究を進めました。 協定締結総数 51件 新規協定件数 令和4年度：5件 令和5年度：0件 令和6年度：5件 ○令和6年度に締結した協定の主な内容 (1) 災害時における物資の供給支援について (2) 福祉避難所について (3) 福祉避難所への専門的人材の派遣について (4) 災害時における施設の使用について (5) 災害時における避難所の確保等について</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 各分野における協定を結んだため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も様々な分野での災害時における連携協定を締結し、防災力強化を図っていきます。</p>
<p>取組⑤ 災害時要配慮者の避難支援体制の強化 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 避難が困難な状況である町民に避難行動要支援者として登録してもらうことで、災害時の避難支援体制の強化を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 新規転入者への案内を中心に本事業の啓発を行いました。 また、現在登録されているかたの転居などの有無の確認を行い、台帳の整理を行いました。 要配慮者支援に関する手引書を令和6年度に改正し、自治会などへの情報共有を行いました。（登録者数：38人）</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 避難行動要支援者名簿を整備したため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 新規転入者をはじめ、支援を必要とする町民への啓発として、町広報やホームページへの掲載などを活用し、周知を行います。 今後も引き続き、自治会などとの連携に努めます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	まちづくり推進課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 開発指導要綱に基づいた開発指導 【取組の概要（背景・目的等）】 宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年度において、開発事前協議は2件指導しました。その中で特に重点的に指導した内容として、一定規模以上の宅地開発については、大和川流域における治水のため調整池などを設けるよう指導しました。 また、開発許可申請が3件、開発行為変更許可申請が2件、宅地造成に関する工事の許可申請2件があり、内容について確認し、「本町の土地利用計画、環境保全、周辺地域の状況等に照らして支障がないこと」を県に副申しました。 【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし	A	【評価の理由・根拠】 開発事前協議2件、開発許可申請3件、開発行為変更許可申請2件、宅地造成に関する工事の許可申請2件があり、適切に処理したため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。また、本町で行われる開発行為について関係各課と事前協議を行い、上牧町としての意見書を取りまとめ開発事業者に対し指導を行います。

総合戦略

-

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	建設環境課
施策の展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。 	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
大和川流域総合治水対策容量【%】	-	33.0 対前年増減→	44.0 +11.0	44.0 ±0	83.3 +39.3	83.3 ±0			100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果（DO）	評価（CHECK）	今後の取組方針等（ACTION）
<p>取組① 流域対策施設（ため池）整備事業の推進</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 大和川流域総合治水対策として、町内のため池において、貯留浸透事業を進めています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 ため池貯留浸透事業として茨崎池における貯留浸透施設の改修を目的とした測量設計業務を実施しました。 令和6年度末時点での治水対策容量は17,997㎡で、目標治水対策量に対する達成率は83.3%です。（目標対策容量 21,600㎡）</p> <p>【事業費（R06）】 ・大和川流域総合治水対策事業（委託料）：6,160千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 順調に治水対策容量実績を上げているため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度に茨崎池のため池貯留浸透事業対策工事を実施します。 茨崎池の治水対策予定量は4,850㎡であり、工事が完了すればため池における治水対策量の合計が22,842㎡となり、目標である21,600㎡を上回ります。（104.1%）</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	<p>① 安全安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通安全施設等の設置や危険箇所の早期改良など、障がい者や高齢者、子ども等、誰もが安心できる道づくりを進めます。 ●危険箇所、通過交通の多い箇所について、交通安全施設の設置を進めます。特に通学路については、交通安全施設の重点的整備を図ります。 ●ドライバーに対して交通マナーの啓発を進めます。 ●子どもや高齢者などに対し、交通安全意識の啓発を進めます。 ●特殊詐欺等の被害に遭わないよう、防犯意識の啓発を推進します。 	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
高齢者自転車用ヘルメット購入費補助件数（累計）【件】	-	38 対前年増減→	64 +26	112 +48	244 +132	348 +104			100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
<p>取組① 町内の危険箇所における交通安全施設等の設置</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 町内の危険箇所について、必要に応じて交通安全施設の設置を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 教育総務課が主として行った10月10日開催の上牧町通学路合同点検において、西和警察署および道路管理者・各担当課で危険箇所の確認を行い、必要に応じた交通安全施設などの設置について共有を行いました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 事業を適正に実施できたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も危険箇所の把握、共有を各関係団体と行い、必要に応じて交通安全施設などの設置の要望を行っていきます。</p>	-
<p>取組② 交通安全教室の開催</p> <p>【取組の概要（背景・目的等）】 町内の小学校、幼稚園及び保育園を対象に交通安全教室を開催することで、子どもの交通安全への意識づけを行います。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 以下の日程で交通安全教室を実施しました。 ・5月2日実施 上牧第三小学校 ・5月14日実施 上牧小学校 ・5月20日実施 上牧幼稚園 ・11月5日実施 上牧第二小学校 ・11月26日実施 第1保育所・慈光保育園・黎明保育園・やまびこ保育園 ・1月14日実施 片岡台幼稚園</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 各校園で実施できたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度においても、西和警察署及び交通安全協会上牧町分会と協力して各保育所、幼稚園、小学校で交通安全教室を実施します。</p>	-

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
<p>取組③ 高齢者に対する運転免許返納の啓発 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者ドライバーへの安全運転の啓発、また加齢による自動車の運転が困難である町民には運転免許証の返納についての啓発を行い、高齢者ドライバーによる交通事故の軽減に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 春と秋（年2回）の交通安全運動の際に、ラスパ西大和店において、西和警察署と連携して交通安全に関する啓発物品の配布を行いました。 ペガサスフェスタでは、自動車シミュレータ、反射神経テストを用いて体験型教室を実施し、高齢者ドライバーのかたに安全運転の啓発を実施しました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 予算計上なし</p>	<p>B</p>	<p>【評価の理由・根拠】 交通安全運動等で啓発は行っているが、高齢者向けの啓発について調査・研究が必要であるため、評価をBとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 西和警察署と連携し高齢者ドライバーに向けた、高齢者の免許返納に関わる啓発活動の回数を増やし、講演会も実施します。 併せて、ペガサスフェスタで返納に関する映像の上映を通し、活動を行っていきます。</p>
<p>取組④ 高齢者自転車用ヘルメット購入費用補助 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助し、自転車運転時にヘルメットの着用を行うことで、運転時における交通安全意識の向上を図ります。 なお、令和5年度からヘルメット着用が努力義務化されたことに伴い、全年齢を対象に補助を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 令和6年度は104件の補助を行い、その内訳は次のとおりです。</p> <p>《内訳》 65歳以上：39人 37.5% 19～64歳：30人 28.8% 0～18歳：35人 33.7%</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・自転車用ヘルメット購入費補助金事業：248千円</p>	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 周知、実施ともに適正に行えたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 道路交通法改正（令和5年4月1日）により、年齢を問わない自転車に乗車するすべての者にヘルメット着用の努力義務が課せられたことに伴い、補助対象者をすべての年齢とすることで広く自転車用ヘルメット着用の促進を図り、交通安全対策の推進を図っていきます。</p>
<p>取組⑤ 特殊詐欺被害防止のための防犯電話購入費補助 総合戦略 -</p>		
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者を対象に、防犯電話購入費の一部を補助することで特殊詐欺被害の防止を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 19件の防犯電話購入費補助の申請がありました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・防犯電話購入費補助金事業：95千円</p>	<p>A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 周知、実施ともに適正に行えたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 令和7年度においても引き続き、防犯電話購入費補助に取り組んでいきます。</p>

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	② 緊急医療の充実	生き活き対策課
	●近隣町や民間医療機関と連携し、救急医療情報の的確な情報提供に努めます。 ●救急医療の役割に関しても、普及啓発を図り、町民の理解と協力を得ながら、救急医療の充実を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
緊急通報装置新規申請件数【世帯】	-	38 対前年増減→	29 -9	51 +22	23 -28	44 +21			40
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 町内民間医療機関との連携強化 【取組の概要（背景・目的等）】 病院から在宅へシームレスな移行ができ、介護が必要な方が安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、西和地域7町と医療機関、ケアマネジャーなどが連携しています。 【実施内容・成果（R06）】 令和6年6月の1か月間を対象に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」の利用状況調査として、西和7町のケアマネ事業所を対象に西和圏域6病院（※1）と圏域外の病院への入退院連携実施状況のアンケート調査を実施しました。対象事業所82か所のうち76か所にご協力いただき、延べ157名のケアマネジャーから回答がありました。結果、入院時にケアマネジャーが病院へ提出する情報提供書の提出率は令和5年度94.5%から84.2%へ、退院時に病院からケアマネジャーへ連絡をする退院調整率が86.3%から85.9%へ、ともに減少しました。ただし、緊急時においては双方合意で情報提供書ではなく電話で情報提供を行うケースもあり、入退院調整ルールづくり事業で培われた医療・介護関係者の連携体制が浸透してきたと考えられます。 また、西和7町主体で、令和7年2月27日に病院の新人職員と居宅介護支援事業所の新人ケアマネジャー向けの入退院ルール勉強会を実施し、延べ45名のかたに参加いただきました。引き続き、入退院調整ルールに基づき、入退院調整が実施されるよう事業を実施します。 ※1西和圏域6病院：西和医療センター、ハートランドしぎさん、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院 【事業費（決算額：R06）】 ・緊急通報見守り支援事業：4,212千円	A	【評価の理由・根拠】 KPIである緊急通報装置新規申請件数については、令和6年6月広報で周知を行い、令和6年9月にはシルバークラブ（友愛）を対象に講演を実施したことで申請者数が増加しました。 また、入退院調整ルールづくり事業については西和7町でケアマネジャーに対してのアンケート調査や勉強会を実施したことで民間医療機関などとの連携が強化できたと考えるため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 令和7年度については、アンケート内容の項目の変更を検討していますが、引き続き医療機関やケアマネジャーへアンケートの配布を行い、調査を通して退院調整の状況を確認、連携への課題などの抽出を行います。 また、入退院調整ルールの更なる浸透、連携の質の向上、西和圏域6病院以外の圏域外病院と連携が必要となるため、アンケート調査を通してケアマネジャーなどの声を聞きながら、課題解決に向けた検討を行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	③ 自主防犯活動の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●自治会やPTA等による自主的な防犯活動や事業者による防犯対策を促進するとともに、ボランティア活動の積極的な活用と人材の育成を図ります。そのためには現在一部の地域で行われている自主防犯組織を町内の各地域にも広め、町内全体に防犯拠点の確保に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
自主防犯活動者育成セミナーの開催回数【回】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0	- ±0	- ±0			1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 自主防犯活動の支援			-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町民・警察・行政などが一体となって、地域のつながりにより犯罪を未然に防ぎ、地域で助け合うことができる安全で安心なまちを目指します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 上牧町自治連合会に補助金を交付し、防犯活動の啓発を支援しました。自治会の皆さんが、パトロールや立哨などを始めとする防犯活動を主体的に実践することで、防犯意識の向上やコミュニティの結束力の向上、犯罪被害の減少など様々な成果が得られることにより、安全で安心して暮らせる地域社会の実現につながることができたと考えます。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・上牧町自治連合会運営支援事業：700千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 各自治会において自主的な防犯活動などの防犯対策を促進し、安全安心なまちづくりを推進することができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧町自治連合会に対し補助金を交付し、各自治会における防犯活動の援助を支援します。 また、安全安心なまちづくりの根幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進や担い手の確保など、他自治体の取組を参考にしながら支援のあり方について検討を進めていきます。</p>	
取組② 自主防犯活動者の育成			-
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 地域における防犯活動の中心となる町民を育成することにより、自主防犯活動を推進します。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 上牧町自治連合会会長が奈良県自治連合会の「新しいまちづくり部会」に参加することで、まちづくり協議会設立に関する知識の習得と、まちづくり協議会を通じた新たな地域活動の担い手の発掘・育成につながりました。 また、各自治会員には消費生活センターのボランティアグループ「くらしの安全・安心サポーター」による出前講座を受講されたことで、詐欺被害の発見や未然防止、拡大防止に関する知識を習得していただきました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・上牧町自治連合会運営支援事業：700千円</p>	A	<p>【評価の理由・根拠】 地域で活躍する町民を対象に防犯に関する知識を習得していただくことができたため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 安全安心なまちづくりの主幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進、担い手の確保、「自主防犯活動者育成セミナー」の実施など、他自治体の取組を参考にしながら活動者の育成について検討を進めていきます。</p>	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	④ 子どもを守るまちづくりの推進	総務課
	●学校、保護者、地域と連携を図りながら、子どもの安全教育や施設及び通学路の安全点検、防犯対策を推進します。 ●子どもはもとより、女性や高齢者にとっても安全で安心なまちづくりのために防犯に配慮した公園や道路空間の整備を推進するとともに、町職員等による防犯パトロールを推進します。 ●犯罪の抑止力や発生後の早期解決を図るため、主要幹線道路、交差点、通学路等の危険な箇所には防犯カメラの設置を積極的に推進します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
防犯カメラ設置台数【台】	○	24 対前年増減→	30 +6	36 +6	37 +1	41 +4			36
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組① 防犯活動の支援 【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置や防犯パトロールなどを行うことで、町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。 【実施内容・成果（R06）】 町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく、防犯パトロールの強化を実施しました。 防犯カメラについては、県道14号線桜ヶ丘3丁目住宅街入口交差点付近、山入橋交差点付近、外町橋交差点付近、新橋交差点付近に新しく設置を行い、合計41台の設置を実施しました。 交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・防犯カメラ設置事業：2,365千円	A	【評価の理由・根拠】 適正に事業を実施できたため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。

総合戦略

基本目標.3

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和6年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	⑤ 消費者行政の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●多様化・複雑化する消費者トラブルに関する相談に迅速かつ確に対応するため、消費生活相談をはじめとする消費者被害救済体制の充実を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
消費者教育講座の参加者数（年間）【人】	-	-	-	-	79	72			100
		対前年増減→	±0	±0	+79	-7			
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)	総合戦略
取組① 消費生活相談窓口の開設 【取組の概要（背景・目的等）】 消費者トラブルに関する相談に迅速かつ確に対応するため、相談窓口を開設します。 【実施内容・成果（R06）】 役場1階市民相談室において、契約・架空請求・ネットトラブルなどあらゆる分野の消費者相談に対応する窓口を週2回開設しています。（13時～17時（火）、9時～13時（木））なお、住民（相談者）の利便性を考え、河合町と連携し、相談体制を構築しています。 訪問勧誘における消費者トラブルを未然に防ぐことを目的に、訪問勧誘お断りのステッカーを作成し、全戸配布しました。 相談窓口において、耳の間こえづらいかたに安心して相談いただけるよう、軟骨伝導イヤホンを導入し、相談体制を整えました。 【事業費（決算額：R06）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円	A	【評価の理由・根拠】 契約・架空請求・ネットトラブルなどあらゆる分野の消費者相談に対応する窓口を開設しました。また、耳の間こえづらいかたに安心して相談いただけるよう相談体制を整え、さらに訪問勧誘における消費者トラブルを未然に防ぐことを目的に、ステッカーを作成・全戸配布しました。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 引き続き、河合町と連携した相談体制で、窓口相談を行います。 また、訪問勧誘における消費者トラブルを未然に防ぐことを目的に、各家庭でも使いやすい啓発用品の全戸配付を考えています。	-
取組② 詐欺被害防止啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する昨今の詐欺による消費者トラブルを町民に啓発することで、詐欺被害の防止に努めます。 【実施内容・成果（R06）】 毎月、町広報紙にて消費生活相談のコーナーを設け、様々なトラブルの事例を紹介しています。 バガサスフェスタにおいて、消費生活相談のコーナーを設け、さまざまな消費者トラブルの事例を紹介するパネルの展示のほか、啓発物品を配布しました。 【事業費（決算額：R06）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円	A	【評価の理由・根拠】 町広報紙やバガサスフェスタにおいて、多様化・複雑化する昨今の詐欺による消費者トラブルを町民に啓発することができました。そのため、評価をAとしています。 【今後の取組方針】 より多くの人々に周知するため、バガサスフェスタなど町イベントにおいて、消費生活相談のコーナーを設け、さまざまな消費者トラブルの事例を紹介するパネルの展示のほか、啓発物品を配布します。	-

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	今後の取組方針等 (ACTION)
取組③ 消費者教育講座の開催		総合戦略 -
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する消費者トラブルを町民に啓発することで、消費者トラブルの被害防止に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R06）】 自治会の住民などを対象に、消費生活センターのボランティアグループ「くらしの安全・安心サポーター」を派遣して行われる出前講座を開催し、多くのかたの消費者被害の発見、未然防止、拡大防止意識の向上につながりました。</p> <p>【事業費（決算額：R06）】 ・消費者行政推進事業：1,160千円</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>【評価の理由・根拠】 消費生活センターのボランティアグループ「くらしの安全・安心サポーター」による出前講座を実施し、自治会の住民など多くのかたの消費者被害の発見、未然防止、拡大防止意識の向上につなげました。そのため、評価をAとしています。</p> <p>【今後の取組方針】 地域住民などを対象に、消費生活センターなどと協力し、消費者教育講座を開催するなど、消費者被害の発見、未然防止、拡大防止を目指します。</p>